

No.50 寛政の改革	年 組
	氏名

/9 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 18世紀後半に老中となり、商人の力を利用して幕府の財政を立て直そうとした人物は (①) である。

2 (①) は、商工業者が (②) をつくることを奨励し、これに特権をあたえるかわりに営業税を取った。

3 田沼意次ののちに、(③) が老中となり祖父の徳川吉宗の政治を理想とする改革を行った。この改革を (④) という。



(③)

4 (③) は、凶作やききんに備えるため、各地に倉を設けて (⑤) をたくわえさせた。また、江戸の湯島に昌平坂学問所を創り、(⑥) 以外の学問を教えることを禁じた。

5 1792年、ロシアの使節 (⑦) が蝦夷地の根室に來航し、幕府に通商を求めた。

6 1804年、ロシアの使節 (⑧) が長崎に來航したが、幕府は通商を断った。

7 諸藩は、17世紀後半から財政が苦しくなり、藩独自の紙幣である右の (⑨) を発行したり、家臣の俸禄を減らしたりしていた。



田沼意次と松平定信の政策の違いに着目しながら、政策の内容をまとめよう。



【解答】

- ① 田沼意次
- ② 株仲間
- ③ 松平定信
- ④ 寛政の改革
- ⑤ こめ
- ⑥ 朱子学
- ⑦ ラクスマン
- ⑧ レザノフ
- ⑨ 藩札